

後発医薬品（ジェネリック医薬品）・バイオシミラー・一般名処方について

当院では、患者さんのご負担をできるだけ軽くし、安定した医療の提供につなげるため、後発医薬品（ジェネリック医薬品）やバイオ後続品（バイオシミラー）の使用を進めています。

また、医薬品の供給状況に応じて、必要な治療を継続できるよう、代替となるお薬のご提案や処方内容の見直しに対応できる体制を整えています。お薬が変更となる場合は、患者さんに丁寧に説明いたします。

1. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）について

後発医薬品は、先発医薬品の特許期間が終了した後に、同じ有効成分・効能効果・用法用量をもとに承認されるお薬です。

開発にかかる費用を抑えられるため、先発医薬品に比べて、患者さんの自己負担が軽くなる場合があります。

一方で、先発医薬品と比べて、添加物が異なる場合や、適応となる病名が一部異なる場合があります。当院では、こうした点も確認しながら、適切に使用しています。

2. バイオ医薬品とバイオシミラーについて

バイオ医薬品は、遺伝子組み換え技術や細胞培養技術などを用いてつくられるお薬です。ホルモン、酵素、抗体などのたんぱく質を利用して製造されており、さまざまな治療に使われています。

バイオシミラーは、先に使われているバイオ医薬品と同等・同質の品質、安全性、有効性をもつ医薬品です。

患者さんのご負担軽減につながる場合があることから、当院でも積極的に活用しています。なお、高額療養費制度の適用状況などによっては、自己負担額が大きく変わらないこともあります。

3. 一般名処方について

一般名処方とは、お薬の商品名ではなく、有効成分の名称を処方箋に記載する方法です。

一般名処方することで、薬局で供給状況に応じたお薬を選びやすくなり、必要なお薬をより安定してお渡ししやすくなります。

当院では、後発医薬品やバイオシミラーの活用を進めるとともに、安定したお薬の提供につなげるため、一部のお薬で一般名処方を行っています。

4. 医薬品の供給状況に応じた対応について

医薬品の供給が不安定な場合には、必要に応じて、代替となるお薬への変更や、用量・投与回数などの見直しを行うことがあります。

その際は、患者さんに内容をご説明し、ご理解いただけるよう努めています。

患者さんへ

当院では、患者さんに安心して治療を受けていただけるよう、安全性に配慮しながら、お薬の適切な使用と安定供給に取り組んでいます。

後発医薬品、バイオシミラー、一般名処方について、ご理解とご協力をお願いいたします。